

午後Ⅱ試験

全問共通

全問に共通して、自らの経験に基づいて具体的に論述できているものが多かった。一方で、各設問には論述を求める項目が複数あるが、対応していない項目のある論述、どの項目に対する解答なのか判然としない論述が見受けられた。また、論述の主題がプロジェクトチームのマネジメントやスケジュールの管理であるにもかかわらず、内容が主題から外れて他のマネジメントプロセスに偏った論述となったり、システムの開発状況やプロジェクトの作業状況の説明に終始したりしている論述も見受けられた。プロジェクトマネージャとしての役割や立場を意識した論述を心掛けてほしい。

問1

問1では、プロジェクトマネージャ（PM）として、行動の基本原則を定めた上でどのように兆候を察知して対立を回避しようとしたのか、それでもなお対立が発生した場合、PMとしてその対立をどのように解消したのか、また、行動の基本原則をどのように改善し遵守させたのか、具体的な論述を期待した。経験に基づき具体的に論述できているものが多かった。一方で、行動の基本原則がプロジェクトの特徴に即していない論述や、対立の解消策が対立の内容や原因に対応していない論述も見受けられた。PMとして、行動の基本原則を定め遵守させることでプロジェクトチームの意識を統一してプロジェクトを円滑に推進するよう、プロジェクトチームのマネジメントのスキルの習得に努めてほしい。

問2

問2では、スケジュールの管理の仕組みを通じて把握した、プロジェクトの完了期日に対して遅延を生じさせると判断した進捗の差異の状況、判断した根拠、差異の発生原因に対する対応策、遅延に対するばん回策について、具体的な論述を期待した。経験に基づき具体的に論述できているものが多かった。一方で、スケジュールの管理の仕組みを通じて把握したものではない遅延やプロジェクトの完了期日に対してではない遅延についての論述や、EVM（Earned Value Management）の理解不足に基づく論述も見受けられた。プロジェクトマネージャにとって、スケジュールの管理は正しく身に付けなければならない重要な知識・スキルの一つであるので、理解を深めてほしい。